

平成22年度
予算説明書

町民の生命を守り

安全・安心のまちづくり



花と歌舞伎と名水のまち

小 鹿 野 町

目 次

はじめに	1
平成22年度 予算規模について	2
I 自然と歴史に囲まれた住みよい生活環境づくり	3
II 健康と福祉のまちづくり	8
III ふるさとの明日を担う心豊かな人づくり	12
IV 地域に根ざした活気あふれる産業づくり	17
資料編	
1 財政指標	22
2 一般会計当初予算の推移	22
3 平成22年度予算の状況	23
4 町税の推移	24
5 普通交付税の推移	24
6 基金（貯金）の推移	25
7 地方債（借金）残高の推移	25
8 職員数の推移（一般会計）	25

はじめに



現下の社会経済情勢は、世界同時不況により、わが国経済も未曾有の経済危機に陥り、デフレスパイラルによる企業の業績悪化と相俟って雇用情勢も極めて深刻な状況が続いております。こうした安閑とはしてられない先行き不透明な局面を乗り切るため、国・県等との連携を強化し、地域経済を底上げするための施策を積極的に推進し、町民の生活に潤いを取り戻すことが、地方公共団体に与えられた緊急の課題であると認識しているところであります。

平成22年度の小鹿野町一般会計予算は、61億3千500万円、対前年度比7.2%・4億1千400万円の大幅な増額となっております。さらに、国の2009年度第2次補正予算における地域活性化・きめ細かな臨時交付金を活用し、平成21年度の小鹿野町一般会計補正予算に事業費1億4千562万円を前倒し計上し、平成22年度予算と一体的に執行することとし、地域経済対策をはじめ、保健・福祉・医療・教育等々の各分野において支援対策を充実させ、町民の皆様の負担軽減を図るため、思い切った財政支出にも意を用いたところであります。

私は、町政運営の基本に「町民の生命を守り、安全・安心のまちづくり」を掲げ、町民との協働による開かれた町政を円滑に推進するため、町民の皆様と夢を語り、職員と一緒に汗を流しながら山積する行政課題に真正面から立ち向かい、誰もが安心して暮らせるまちづくりに、全身全霊を傾けて取り組んで行く所存であります。

ここに本年度予算に盛り込まれた主要事業の内容や行財政の現況を町民の皆様にお知らせするため、予算説明書を発刊する運びとなりました。

町の将来像である「人と自然が共に輝く活気あふれるまちづくり」を町民の皆様とともに考える一助としてご活用いただければ幸いに存じます。

平成22年5月

小鹿野町長 福島弘文

平成22年度 予算規模について

●予算規模

会 計 名	予 算 額	対 前 年 度 比
一 般 会 計	61億3,500万円	7.2%
国民健康保険特別会計	15億5,457万円	5.4%
老人保健特別会計	141万6,000円	△84.9%
後期高齢者医療特別会計	2億3,039万6,000円	6.4%
介護保険特別会計	13億9,085万6,000円	7.0%
浄化槽設置管理等特別会計	1億3,020万円	3.0%
病院事業会計	13億9,085万1,000円	△7.5%
水道事業会計	3億9,017万9,000円	△1.4%
国民宿舎事業会計	2億7,305万5,000円	△2.9%
合 計	114億9,652万3,000円	4.2%

(※注 対前年度比欄の△は減少)

●緊急経済対策予算（一般会計）

国の第2次補正予算を受けて次の事業が町の平成21年度補正予算に計上・繰越され、平成22年度予算（61億3,500万円）と一体的に実施されます。

事 業 名	予 算 額	内 容
道路橋梁整備事業	9,582万円	生活道として重要な道路橋梁の整備を実施します。
水路整備事業	1,400万円	集中豪雨対策等として水路整備を実施します。
消防防災施設整備事業	1,840万円	防火水槽、ホースポール新設整備を実施します。
森林管理道整備事業	1,740万円	長若北ノ入線の舗装、両神日蔭入支線の改良工事を実施します。
緊急経済対策予算 合計	1億4,562万円	※地域活性化・きめ細かな臨時交付金として国から補助金が交付されます。

I 自然と歴史に 囲まれた住みよい 生活環境づくり

- 土地利用 ■居住環境 ■自然環境
- 安全な暮らし ■中心市街地の活性化
- 高度情報通信基盤の整備

日本の滝百選「丸神の滝」



豊かな自然に恵まれた環境は、暮らしにゆとりと安心を与えてくれます。小鹿野町には、自然と共生する文化や風土があり、国立公園や県立自然公園に見られるように、環境保全エリアが設定されています。自然と環境を生活の中で楽しみ、自然との共生や資源の循環を重視するライフスタイルは、環境共生のまちづくりにつながります。

■自然公園等維持管理事業 1,462万円 (担当：産業観光課)

財源	県の補助金529万円	町のお金703万円
----	------------	-----------

入園料など230万円

優れた風景地を保護するとともに、その利用促進を図り、利用者の健康増進に資するため、自然公園等の適切な維持管理を行います。

■森の癒し効果促進事業 74万円 (担当：総合政策課)

財源	町のお金74万円
----	----------

森の持つ癒し効果と地域医療や観光資源を連結させ、健康の維持・元気回復を目的に実施します。

■住宅用太陽光発電設備・高効率給湯器設置補助事業 160万円 (担当：住民課)

財源	町のお金160万円
----	-----------

地球に優しいエネルギー社会の実現に向けて、設置費の一部を助成します。

■定住促進対策事業 250万円 (担当：総合政策課)

財源	町のお金250万円
----	-----------

町外からの転入者を温かく受け入れるため、町内に住宅を建設した場合、一定の奨励金を交付します。

I 自然と歴史に囲まれた住みよい生活環境づくり

■町営住宅建設事業 2億2,146万円 (担当：建設課)

財源	県の補助金9,393万円	町のお金1億2,753万円 (うち借金9,200万円)
----	--------------	-----------------------------

子育て世代の定住化を推進するため、(仮称)笠原団地18戸の建設を行います。



(仮称)笠原団地建設予定地

■町営住宅管理事業 3,804万円 (担当：建設課)

財源	家賃収入3,804万円
----	-------------

町営住宅380戸の施設維持管理に必要な経費です。

■住宅リフォーム資金助成事業 1,011万円 (担当：産業観光課)

財源	町のお金1,011万円
----	-------------

好評の住宅リフォーム資金助成事業については、経済不況下における地域の活性化に資するため、予算を増額し今年度も実施します。町内居住者が町内の大工さん等によりリフォームを行った場合に助成金を支給します。

■地籍調査事業 1,217万円 (担当：建設課)

財源	県の補助金375万円	町のお金842万円
----	------------	-----------

円滑な土地利用の推進に資するため、正確な地籍図や地籍簿の整備を行います。今年度も引き続き、般若地内の0.21km²を調査します。

■水道事業会計 3億9,018万円 (担当：水道課)

財源	事業収入2億4,872万円	町のお金1億3,610万円	県の補助金536万円
----	---------------	---------------	------------

公共の福祉の増進と安全・安心な水道水の安定供給ができるよう、老朽化した配水管の布設替えや施設の適切な管理を行います。

I 自然と歴史に囲まれた住みよい生活環境づくり

■衛生センターし尿処理事業 1億5,074万円 (担当:衛生課)

財源	事業収入5,016万円	町のお金1億8万円
	県の補助金50万円	

高性能合併処理浄化槽の普及推進を図るとともに、老朽化したトラック・スケール施設の改修を行います。

■浄化槽設置管理等特別会計 1億3,020万円 (担当:衛生課)

財源	使用負担金3,118万円	町のお金7,411万円 (うち借金4,120万円)
	国の補助金2,491万円	

高性能合併処理浄化槽は、町の施設として一元化して設置・管理を行っています。使用者は、使用料、法定点検料、汚泥汲み取り料などの費用が掛かります。

■常備消防事業 2億3,933万円 (担当:住民課)

財源	町のお金2億3,933万円
----	---------------

秩父広域市町村圏組合で行っている消防・救急活動に係る負担金です。秩父消防本部及び各消防分署の活動費として使われます。

■非常備消防事業 6,891万円 (担当:住民課)

財源	共済組合から1,600万円	町のお金5,291万円
----	---------------	-------------

5支団27分団の団員報酬、活動費、共済組合への負担金などの費用です。

■防災事業 696万円 (担当:住民課)

財源	町のお金696万円
----	-----------

防災行政無線の維持管理費を含めた防災関係費です。昨年度、小鹿野庁舎と両神庁舎のシステム統合も完了しました。今後も最新の情報を迅速に伝達できるよう努めます。

■道路新設改良事業 2,790万円 (担当:建設課)

財源	国の補助金800万円	町のお金1,990万円
----	------------	-------------

市街地の幹線道路である町道89号線(北裏通り)の改良工事を行うほか、生活道路の整備を行います。

I 自然と歴史に囲まれた住みよい生活環境づくり

■町営バス運行事業 7,746万円 (担当:両神庁舎管理課)

運行収入1,034万円

財源		町のお金5,412万円
	県の補助金1,300万円	

町営5路線を運行していますが、利用者の皆様に対するさらなるサービスの向上に取り組んでいきます。今年度は、両神線のバス1台を買い替えます。

■過疎バス対策事業 2,630万円 (担当:総合政策課)

財源	県の補助金533万円	町のお金2,097万円
----	------------	-------------

西武観光バス(株)が運行している志賀坂線及び倉尾線の赤字分を補てんしています。また、町営バスは77歳以上の町民を対象に無料乗車券を交付していますが、さらに、この2路線も対象に加わります。

■まちづくり活動推進事業 597万円 (担当:総合政策課)

財源	国の補助金200万円	町のお金397万円
----	------------	-----------

中心市街地の街並み景観づくりや、街なか回遊道路整備の検討を行い、中心市街地の魅力づくりのための事業を行います。



路地を散策する観光客

■町並み修景整備補助事業 205万円 (担当:産業観光課)

財源	町のお金205万円
----	-----------

町の歴史と風土を活かし、魅力ある商店街の町並み景観整備を図るための店舗改修等に対し、補助金を交付します。

■ミュージアムパーク関連施設運営事業 1,534万円 (担当:産業観光課)

スカイトレイン使用料300万円

財源

レンタサイクル使用料1,150万円

町のお金84万円

スカイトレインとレンタサイクルの管理運営業務を委託して行っています。今年度は、特殊自転車の充実を行います。

■般若の丘施設管理事業 1,741万円 (担当:産業観光課)

財源

町のお金1,741万円

般若の丘施設の管理にかかる経費です。今年度は「バイクの森おがの」の消防施設の改修工事を実施します。



般若の丘公園

■緊急経済対策「地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業」

○道路橋梁整備事業 9,582万円 (担当:建設課)

財源

国の補助金9,277万円

町のお金305万円

町道135号線他6路線の改良、町道700号線他7路線の改修、町道両神7号線他6路線の舗装工事を実施します。さらに、町道両神7号線中郷橋他2橋梁の塗装工事等を実施します。

○水路整備事業 1,400万円 (担当:建設課)

財源

国の補助金1,200万円

町のお金200万円

長留茅株地内他2件の水路改修工事を実施します。

○消防防災施設整備事業 1,840万円 (担当:住民課)

財源

国の補助金1,600万円

町のお金240万円

防火水槽40m³級3基及びホースポール4基の消防防災施設をそれぞれ整備します。

Ⅱ 健康と福祉の まちづくり

- 健康づくりと医療
- 高齢者の保健福祉
- 障がい者の自立と社会参加
- 子育て支援
- 地域の福祉の充実
- 生活の安全と支援

町立病院



健康はみんなの願いであり、町の宝でもあります。町立中央病院を中核とした地域包括ケアシステムの充実に取り組み、町民の皆さんが生きいきと暮らせる健康づくりを支援します。

地域福祉についても、子育て支援・高齢者の支援・障がい者の支援など、多様なニーズに対応する基盤づくりを推進し、支えあいのまちづくりを進めます。

■町立病院事業会計 13億9,085万円 (担当：町立病院)

財源	事業収入9億5,767万円	町のお金4億1,848万円 (うち借金450万円)
	その他医療外収益1,470万円	

全国的に医師不足が深刻化する中、町立病院においても派遣医師2名の減少による厳しい運営が見込まれます。医師の確保による医療体制の再構築に積極的に取り組んでいきます。今年度は一般会計からの繰出金を増額しました。

■医学生修学資金等貸付事業 2,520万円 (担当：学校教育課)

財源	町のお金2,520万円
----	-------------

臨床研修及び専門研修を受けている医師を貸付対象者に新たに加え、将来にわたる町立病院の医師の確保に取り組みます。

■保健福祉センター運営事業 483万円 (担当：保健福祉課)

財源	町のお金483万円
----	-----------

町立病院と保健福祉センターが連携しながら、デイサービスセンターの機能も有効に活用して町民の皆さんの健康増進を支援します。

■国民健康保険特別会計 15億5,457万円 (担当：保健福祉課)

町のお金1億6,359万円

財源	国保税2億9,725万円	国の負担金4億1,307万円	県の補助金等6億8,066万円	
----	--------------	----------------	-----------------	--

急速な高齢化の進展や医療技術の高度化等に伴い、医療費も年々増加し、国保財政の運営が極めて厳しい状況が続いています。こうした中ですが、適正かつ安定的な事業運営に努めるため、今年度は一般会計からの繰出金を増額しました。

■妊婦健診助成事業 913万円 (担当：保健福祉課)

財源	県の補助金406万円	町のお金507万円
----	------------	-----------

年14回の妊婦健診に対する助成を行います。

■出産褒賞金支給事業 315万円 (担当：住民課)

財源	町のお金315万円
----	-----------

子育て支援の一環として、褒賞金（第1子1万円・第2子3万円・第3子以降の子5万円）を支給します

■子ども医療費助成事業 3,422万円 (担当：住民課)

財源	町の補助金542万円	町のお金2,880万円
----	------------	-------------

中学校修了までの子ども医療費の無料化に取り組み、保護者の負担軽減を図ります。

■子ども手当支給事業（児童手当を含む） 2億3,540万円 (担当：住民課)

県の負担金2,882万円

財源	国の負担金1億7,776万円		
----	----------------	--	--

町のお金2,882万円

中学校修了までの子ども一人につき月額1万3千円を、本年6月から支給を開始します。

■子育て支援センター管理運営事業 608万円 (担当：住民課)

財源	県の補助金499万円	
----	------------	--

町のお金109万円

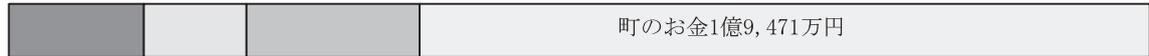
子育て家庭に対する育児相談や指導とともに子育てサークルへの支援に取り組んでいます。

II 健康と福祉のまちづくり

■保育所管理運営事業 3億439万円 (担当：住民課)

国の補助金3,624万円 保育料等4,611万円

財源



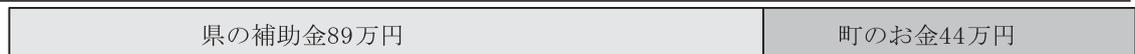
県の補助金2,733万円

町立保育所の運営費をはじめ、民間や他市町村保育所の入所に要する委託費などの関係費用です。



■放課後子ども教室推進事業 133万円 (担当：学校教育課)

財源



各小学校区において、子どもたちが放課後や週末等を利用して、地域との交流活動に取り組んでいます。

■老人福祉事業 4億7,605万円 (担当：保健福祉課)

事業収入5,478万円

財源



国県の負担金3,219万円

次のような事業を行っています。詳しくは保健福祉課までお問い合わせください。

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> ねたきり老人手当支給事業 | <input type="checkbox"/> ねたきり老人布団乾燥事業 |
| <input type="checkbox"/> 緊急通報システム維持管理事業 | <input type="checkbox"/> 高齢者慰問事業 |
| <input type="checkbox"/> 敬老祝い金支給事業 | <input type="checkbox"/> 老人クラブ活動費補助 |
| <input type="checkbox"/> 敬老会開催費 | <input type="checkbox"/> ゲートボール場等維持管理事業 |
| <input type="checkbox"/> 特別養護老人ホーム補助 | <input type="checkbox"/> 高齢者事業団運営補助 |
| <input type="checkbox"/> 低所得者介護サービス等利用料補助 | <input type="checkbox"/> 秩父荘の管理運営 |
| <input type="checkbox"/> 長寿ハウスの運営 | <input type="checkbox"/> 訪問看護ステーションの運営 |
| <input type="checkbox"/> 倉尾けんこう館の運営 | <input type="checkbox"/> 両神高齢者福祉センターの運営 |

■老人保健特別会計 142万円（担当：保健福祉課）

財源	町のお金135万円		その他7万円

■後期高齢者医療特別会計 2億3,040万円（担当：保健福祉課）

財源	保険料7,279万円	町のお金1億5,738万円	その他23万円

老人保健特別会計は、後期高齢者医療特別会計に移行されています。
 高齢化の進行に伴い医療費の増加が見込まれることから、今後も積極的な疾病予防の推進に取り組んでいきます。

■介護保険特別会計 13億9,085万円（担当：保健福祉課）

○保険事業勘定 11億934万円

財源	保険料1億7,688万円	基金交付金3億2,073万円	国県の負担金4億2,260万円	町のお金1億8,901万円	その他12万円

○サービス事業勘定 2億8,151万円

財源	事業収入2億3,663万円	国の負担金385万円	その他3万円
	繰越金4,100万円		

■障がい者更生援護支援事業 976万円（担当：保健福祉課）

財源	利用負担金5万円	国県の負担金776万円	町のお金195万円

更生医療費や補装具給付費が主なものです。

■障がい者自立支援事業 2億613万円（担当：保健福祉課）

財源	国県の負担金1億4,794万円	町のお金5,819万円
----	-----------------	-------------

障がい者の方が、地域で安心して暮らせるよう自立を支える事業です。介護給付、訓練等などを行います。

■障がい者地域生活支援事業 870万円（担当：保健福祉課）

財源	国県の負担金525万円	町のお金345万円
----	-------------	-----------

心身障がい者の相談支援事業、コミュニケーション支援事業、日常生活用具の給付事業、移動支援事業などを行い、障がい者の地域生活の支援を行います。

Ⅲ ふるさとの 明日を担う 心豊かな人づくり

- 幼児と学校教育 ■ 社会教育と文化活動
- スポーツ・レクリエーション
- 人権尊重 ■ 青少年健全育成

小鹿野春まつり



地域を支える心豊かな人材の育成は、世代を超えて、温かい思いやりの心と健やかな体づくりを基本に、一人ひとりの個性を十分に発揮できる教育を推進する必要があります。生涯を通じての学習は、自らの能力や教養を高めるとともに、生活の充実や地域活性化のために大きな役割を果たします。

■ 義務教育支援事業 3, 221万円 (担当：学校教育課)

財源

町のお金3,221万円

子育て支援策として、第2子以降の給食費全額と教材費の一部無料化に取り組み、保護者の負担軽減を図ります。

■ 学校教育支援事業 1, 705万円 (担当：学校教育課)

財源

町のお金1,705万円

学校生活指導補助員を配置し、個々の児童に応じた指導の充実と学習指導の円滑な実施に取り組みます。

■ 小中学校英語指導助手派遣事業 1, 100万円 (担当：学校教育課)

財源

町のお金1,100万円

英会話を通じた英語教育の充実を図るため、小中学校、幼稚園や保育所にも指導助手の派遣を行います。

■学校施設整備事業 7,500万円 (担当：学校教育課)

財源	国の補助金2,407万円	町のお金5,093万円(うち借金1,200万円)
----	--------------	--------------------------

学校施設耐震化計画に基づき、三田川中学校体育館の耐震補強工事を実施します。また、来年度、小鹿野小学校校舎の大規模改修工事を行うため、今年度は設計費用を予算化しました。

■フレンドリー相談員配置事業 846万円 (担当：学校教育課)

財源	県の補助金564万円	町のお金282万円
----	------------	-----------

児童生徒の学習や心の問題等に対応するため、フレンドリー相談員を配置し、健全な児童生徒の育成に取り組みます。

■医学生修学資金等貸付事業 2,520万円 (担当：学校教育課)《再掲》

財源	町のお金2,520万円
----	-------------

臨床研修及び専門研修を受けている医師を貸付対象者に新たに加え、将来にわたる町立病院の医師の確保に取り組みます。

■スクールバス運行事業 1,235万円 (担当：学校教育課)

財源	町のお金1,235万円(うち借金450万円)
----	------------------------

小中学校の児童生徒の通学用のスクールバス運行にかかる経費で、今年度は両神小学校のスクールバス1台の買い替えを行います。

■幼稚園バス運行事業 672万円 (担当：学校教育課)

財源	町のお金672万円
----	-----------

小鹿野・三田川・両神幼稚園の通園バスの運行にかかる経費です。

■児童・生徒遠距離通学費助成事業 273万円 (担当：学校教育課)

財源	町のお金273万円
----	-----------

バス通学する児童生徒のバス代を補助し、保護者の負担軽減を図ります。

Ⅲ ふるさとの明日を担う心豊かな人づくり

■放課後児童対策事業 2,071万円 (担当:住民課)

利用料277万円

財源

県の補助金756万円

町のお金1,038万円

町直営の両神学童保育室と民間委託の小鹿野学童クラブの運営関係費用です。

■生涯学習まちづくり推進事業 48万円 (担当:社会教育課)

財源

町のお金48万円

生きがいや自己表現のための自分自身を高める生涯学習を推進するため、各種講座を開催します。

■文化団体連合会育成事業 57万円 (担当:公民館)

財源

町のお金57万円

文化団体の育成を図り、生涯学習の充実を推進します。

■各種講座開催事業 77万円 (担当:公民館)

財源

町のお金77万円

子どもから大人までを対象に、各種講座を開催します。

■図書館管理運営事業 553万円 (担当:図書館・公民館)

財源

町のお金553万円

蔵書数も3万5千冊を超えましたが、さらなる図書の充実に取り組みます。

■総合運動公園維持管理事業 973万円 (担当:社会教育課)

利用料106万円

財源

町のお金867万円

総合運動公園の野球場、テニスコート等の維持管理費です。

■ロードレース大会開催事業 438万円 (担当：社会教育課)

財源

町のお金438万円

小鹿野ロードレース大会は、町内外から多くの参加者があり、スポーツの振興を通して町のPRにも貢献しています。今年度は、第40回記念大会としてゲストランナーを招いて盛大に開催します。



■スポーツ振興事業 537万円 (担当：社会教育課)

財源

町のお金537万円

体育協会、スポーツ少年団、地区運動会、チャレンジデー実行委員会等への補助を実施しています。

■指定文化財管理事業 371万円 (担当：社会教育課)

財源

町のお金371万円

町内の指定文化財の保存管理を充実するため、復元修理に対する補助や保存活動奨励金の交付を行っています。今年度は、竹平獅子舞の衣装新調などの補助を行います。



鉄砲まつり

Ⅲ ふるさとの明日を担う心豊かな人づくり

■文化財資料整備事業 281万円 (担当：社会教育課)

財源

町のお金281万円

民俗資料や古文書のほか、合角ダム水没地域の出土品、動植物の化石標本等多くの貴重な資料を有効活用できるよう整備を進めています。

■歌舞伎のまちづくり事業 625万円 (担当：社会教育課)

財源

町のお金625万円

小鹿野春まつりをはじめとする地元での定期上演や、全国各地で行われる訪問上演を通じ、町の文化大使として地域間交流活動を展開しています。今年度は、町独自の創作歌舞伎の上演も予定しています。



■人権施策推進事業 97万円 (担当：総務課)

財源

町のお金97万円

人権教育を積極的に推進し、町民一人ひとりが人権について正しい理解と認識を高められるよう啓発活動を推進します。

■人権教育推進事業 96万円 (担当：社会教育課)

財源

町のお金96万円

さまざまな差別をなくすため、小中学校を対象に「人権教育の集い」を開催します。また、小鹿野町人権教育推進協議会と連携して町民の皆さんを対象とした「人権教育研修会」、「地区別学習会」等を開催するほか、町内各小中学校から作品を募集し、「人権標語・作文集の編集発行」を行います。

IV 地域に根ざした 活気あふれる 産業づくり

- 農林業
- 工業
- 商業・地域産業
- 観光

日本百名山「両神山」



企業育成や企業誘致は、雇用の確保と所得の向上など、町民生活に大きな影響を及ぼすことから、今後も引き続き推進して行きます。

また、本町の産業発展のため新たな分野の研究や振興、退職時代を迎えた団塊世代の人材を活用した農業振興など、幅広い展開を推進します。

■かんがい排水路整備事業 452万円 (担当：産業観光課)

財源	県の補助金149万円	町のお金303万円
----	------------	-----------

今年度は、長留関尻地区の排水路工事を実施します。

■農業団体への補助事業 211万円 (担当：産業観光課)

財源	町のお金211万円
----	-----------

生産部会や生産組合等の活動に対して助成を行います。

■新規就農者育成事業 550万円 (担当：産業観光課)

財源	町のお金550万円
----	-----------

出荷を目的とした新規就農者を対象に必要な資材費の一部を補助します。

■中山間地域等直接支払制度事業 380万円 (担当：産業観光課)

財源	県の補助金190万円	町のお金190万円
----	------------	-----------

中山間地域の環境保全のため傾斜がきつく条件の悪い農地の管理に対し、平地とのコスト格差分を支払う制度です。今後も地域の取組みを支援して行きます。

IV 地域に根ざした活気あふれる産業づくり

■遊休農地解消総合対策事業 84万円 (担当：産業観光課)

財源

町のお金84万円

遊休農地が有効に利用できるように、耕作希望のある方へ苗木や種子等の購入費を補助します。

■水路維持管理事業 230万円 (担当：産業観光課)

財源

町のお金230万円

小鹿野用水をはじめ、各地域にある用水路の維持管理の経費です。

■山村生活安全対策事業 251万円 (担当：産業観光課)

財源

町のお金251万円

人家に近い危険な裏山等の落石防止対策工事や治山工事を実施します。

■森林管理道開設・改良・舗装事業 4,747万円 (担当：産業観光課)

財源

県の補助金1,296万円

町のお金3,451万円

日蔭入支線及び浦島線の舗装工事をはじめ、県営森林管理道の御岳山線及び八日見線の開設などを行います。

■両神農林産物直売所運営事業 817万円 (担当：産業観光課)

財源

販売手数料817万円

直売所は農林産物の生産安定化と販売拡大を図っています。休日には温泉客やハイカーなどで賑わっています。

■資源活用センター運営事業 2,130万円 (担当：産業観光課)

財源

売上収入1,820万円

体験収入310万円

地域資源を活用したそば、うどん、豆腐づくりの体験や販売、食事もできる資源活用センターは、隣接する薬師の湯や農林産物直売所とともに、観光農業活性化の一躍を担っています。

IV 地域に根ざした活気あふれる産業づくり

■長尾根農林産物直売所運営事業 761万円 (担当：産業観光課)

財源	売上手数料420万円	町のお金341万円
----	------------	-----------

秩父ミュージックパーク内にあり、長若産の朝採り新鮮野菜・山菜などを販売しています。この施設では、レンタサイクルの貸出も行っています。

■有害鳥獣駆除事業 545万円 (担当：産業観光課)

財源	県の補助金147万円	町のお金398万円
----	------------	-----------

有害鳥獣による被害が年々拡大の傾向にあり、農林業の営農意欲を低下させるなど大きな問題となっています。今年度も、鳥獣害防止対策に係る費用の一部補助などを行います。

■住宅リフォーム資金助成事業 1,011万円 (担当：産業観光課)《再掲》

財源	町のお金1,011万円
----	-------------

好評の住宅リフォーム資金助成事業については、経済不況下における地域の活性化に資するため、予算を増額し今年度も実施します。町内居住者が町内の大工さん等によりリフォームを行った場合に助成金を支給します。

■観光地整備事業 605万円 (担当：産業観光課)

財源	町のお金605万円
----	-----------

日本の滝百選「丸神の滝」は、四季折々訪れる人々の心を癒してくれる観光スポットになっています。今年度は、観光水洗トイレを設置します。

■商工団体への補助事業 761万円 (担当：産業観光課)

財源	町のお金761万円
----	-----------

商工業振興の一躍を担っている西秩父商工会、バンビサービス協同組合、セタフェスティバル実行委員会等に対する補助を行います。

■小口融資資金貸付金利子補給事業 1,312万円 (担当：産業観光課)

■中小企業資金貸付金利子補給事業 338万円 (担当：産業観光課)

財源	町のお金1,650万円
----	-------------

町内の中小企業の経営のために必要な資金として借入れた資金の年間利子に対し、一定の補助を行います。

IV 地域に根ざした活気あふれる産業づくり

■工業導入対策事業 50万円 (担当：総合政策課)

財源

町のお金50万円

泉田工業導入地域などにおける企業誘致対策に取り組みます。

■オートバイによるまちおこし事業 32万円 (担当：総合政策課)

財源

町のお金32万円

オートバイライダーに向けた、交通安全とマナーアップ向上に対する啓発活動に取り組みます。



子どもポケバイ体験



■観光関係団体への補助事業 853万円 (担当：産業観光課)

財源

町のお金853万円

小鹿野両神観光協会、両神ふるさとまつり実行委員会等に対する補助を行います。今年度も恒例の「両神ふるさとまつり」を盛大に開催します。

■旧本陣寿旅館改築事業 3,512万円 (担当：総合政策課)

財源

国の補助金1,320万円

町のお金2,192万円 (うち借金1,400万円)

古きよき町並み景観を保存するとともに、中心市街地の活性化と観光案内機能を付加して情報発信ができるよう、旧本陣寿旅館の改築を行います。



IV 地域に根ざした活気あふれる産業づくり

■両神温泉薬師の湯運営事業 7,655万円 (担当：産業観光課)

財源	町のお金320万円	
	利用収入4,085万円	売店等収入3,250万円

町民の皆さんの健康増進を支援するとともに、町の観光情報の発信基地としての役割も演じています。

■みどりの村管理運営事業 420万円 (担当：産業観光課)

財源	町のお金405万円
	利用料15万円

若者センター、農業資料館、フィールドアスレチック、テニスコート等の管理運営費です。そば打ち体験やうさぎとのふれあいコーナーなども開催されます。

■国民宿舎「両神荘」事業会計 2億7,306万円 (担当：産業観光課)

財源	収入2億2,530万円	
		町のお金4,776万円

景気低迷による経営環境の悪化により、利用者の減少が見込まれることから、各種団体に対する誘客活動を展開し、経営の健全化に努めます。

■緊急雇用対策「ふるさと雇用再生基金事業」 2,424万円

財源	県のお金2,424万円
----	-------------

ふるさと雇用再生基金事業として県の補助金を受け、次の事業を実施します。

- ふれあいいいききサロンの運営 (担当：保健福祉課)
- ハウス利用の農業栽培就農希望者支援 (担当：産業観光課)

■緊急雇用対策「緊急雇用創出基金事業」 2,167万円

財源	県のお金2,167万円
----	-------------

緊急雇用創出基金事業として県の補助金を受け、次の事業を実施します。

- 鳥獣害対策・ダリア園景観整備 (担当：産業観光課)
- 合角ダム周辺道路環境整備 (担当：建設課)
- 学校環境整備・ICT支援員の配置 (担当：学校教育課)

■緊急経済対策「地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業」

○森林管理道整備事業 1,740万円 (担当：産業観光課)

財源	国の補助金1,500万円	
		町のお金240万円

長若北ノ入線の舗装、両神日蔭入支線の改良工事を実施します。

1 財政指標

区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度	判断基準
財政力指数（3カ年平均）	0.41	0.42	0.43	高いほうが良い
経常収支比率	83.0	82.6	81.3	低いほうが良い
公債費負担比率	17.1	15.8	15.7	低いほうが良い
実質公債費比率	16.8	16.8	15.6	低いほうが良い
将来負担比率	—	131.5	107.6	低いほうが良い

【用語解説】

財政力指数⇒標準的にかかる経費に対する自主的な収入割合で、指数が高いほど財源に余裕があることとなります。

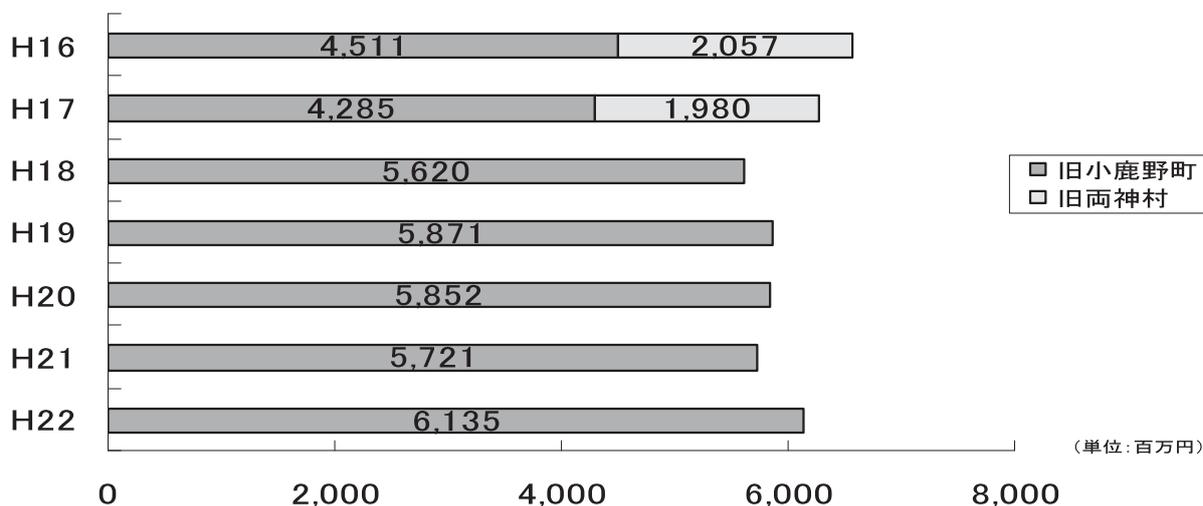
経常収支比率⇒財政構造の弾力性を判断する比率で、指数が低いほど弾力性が大きいこととなります。

公債費負担比率⇒公債費（借金返済）に充てられた一般財源の一般財源総額に占める割合です。

実質公債費比率⇒平成17年度決算から導入された指標で、標準的な財政規模に占める元利償還金等（公営企業会計への繰出金のうち公債費に当たるものも含まれます。）の割合で、18%を超えると地方債の発行に許可が必要となります。

将来負担比率⇒一般会計の借金（町債）や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すものです。

2 一般会計当初予算の推移



●ワンポイント●

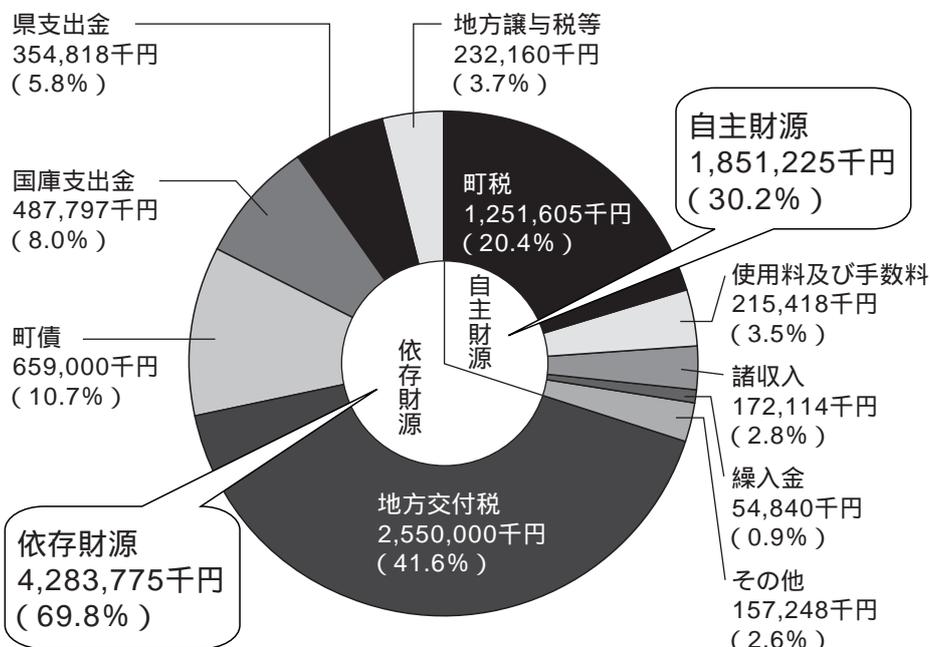
※予算額は、その年に建設事業（施設等の建設・整備）等をどれだけ行うかにより大きく増減します。

大規模な道路施設等の建設事業がある年には増え、終了した時に減りますので、一概にその評価はできませんが、一つの目安としては基金（貯金）から繰入れ（取り崩し）が0での予算額になれば当該年度の収入で賄われている予算となります。平成21年度は、学校教育施設整備として体育館の耐震補強事業、道路整備事業などの事業が行われましたが、平成22年度は、町営住宅（仮称）笠原団地建設工事、学校教育施設では三田川中学校体育館耐震補強工事、町民体育館耐震補強工事、日本陣寿旅館の改修工事を実施します。

3 平成22年度予算の状況

一般会計予算 61億3千5百万円

歳入



【用語解説】

地方交付税⇒行政サービスの一定水準の確保と自治体間の不均衡を調整するため国から交付されるものです。地方交付税は普通交付税と災害など特別な事情により配分される特別交付税があります。

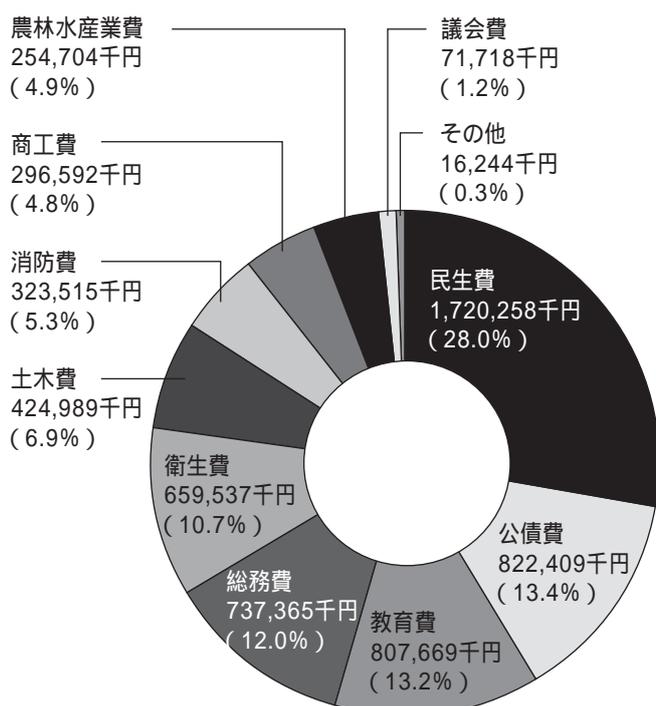
町債⇒町の借金で、将来にわたって返済が必要です。

繰入金⇒貯金(基金)からの収入(取り崩し)です。

●ワンポイント●

国や県の動向に左右されない財政運営(やりくり)を行うには自主財源が多いほうが好ましいとされています。

歳出



【用語解説】

公債費⇒町の借金を返すためのお金です。

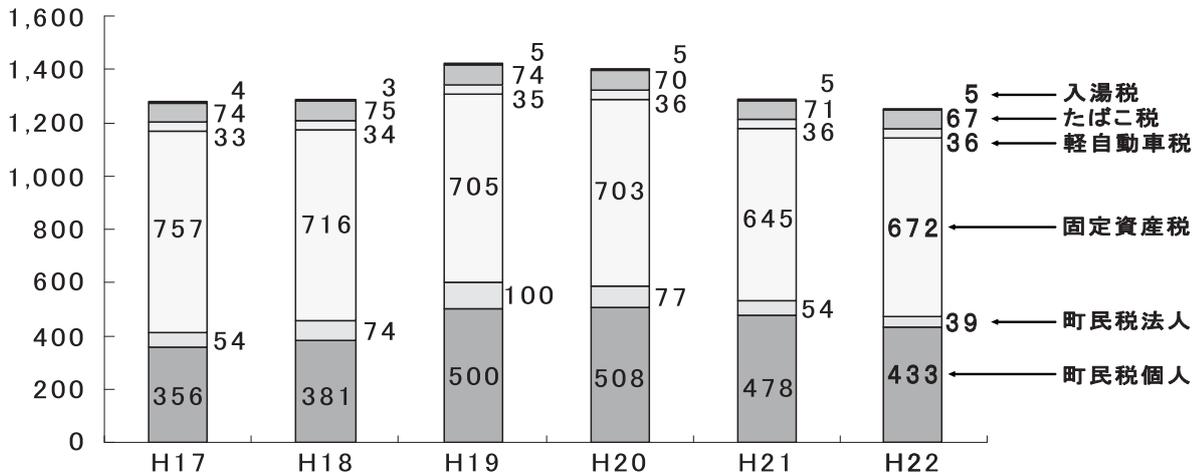
●ワンポイント●

道路や各種施設の建設時に、その資金として借り入れたお金の返済金が公債費ですが、町民の皆さんにとっての費用対効果の視点に立って借り入れを行い、その削減に努力していくことが健全な町の財政を維持していくためにも必要となってきています。

4 町税の推移

(単位：百万円)

(※H21.H22は見込額)



【用語解説】

町民税(個人)⇒個人の所得に対して課税される町の税金です。

町民税(法人)⇒会社等の所得に対して課税される町の税金です。

●ワンポイント●

町税収入は平成12年度まで伸びてきましたが、景気が落ち込んでいることなどから、その後横ばいないし減少傾向にあります。平成19年度に税制改正が行われ町民税が増えましたが、税制改正前に国から交付されていた譲与税が縮減されました。その後景気低迷のため大幅に税収も下がっています。

平成22年度の町税収入についても、減収見込みとなっています。

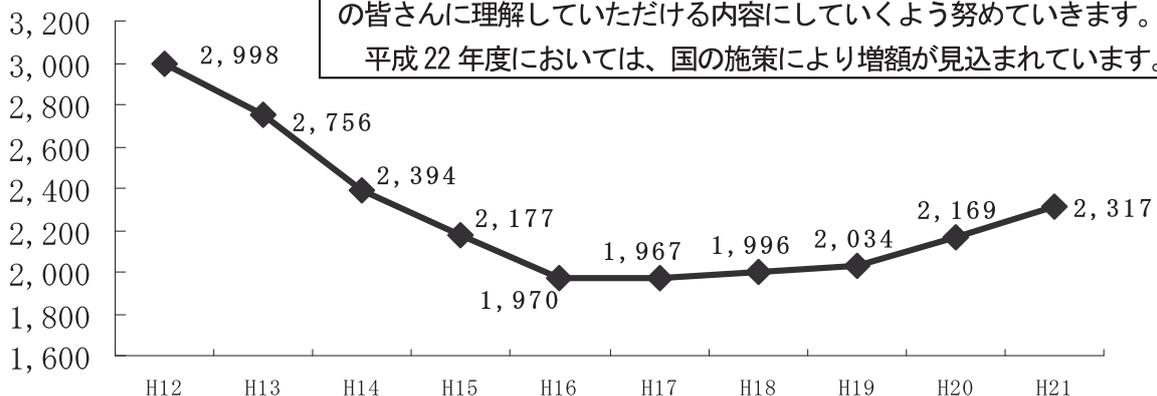
5 普通交付税の推移

●ワンポイント●

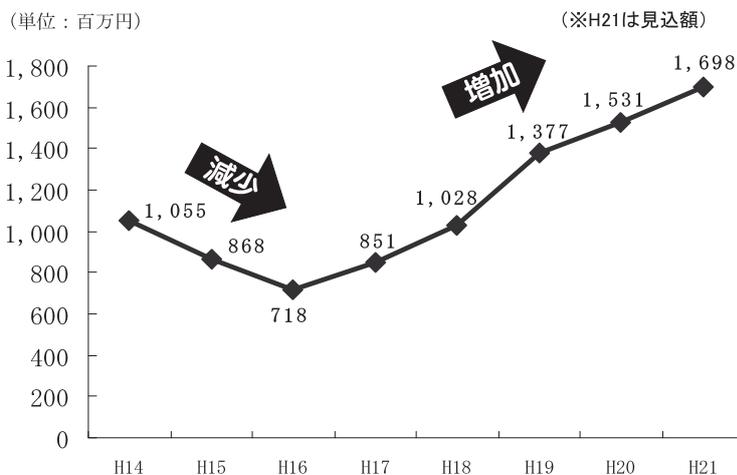
普通交付税は財源の中心となる収入ですが、国の財政状況の悪化により減額されてきました。小鹿野町においては合併効果により若干の増加がありますが、国の施策に注意を払う必要があります。今後も収入に見合った支出が必要となりますので支出については、よりその内容を精査し、町民の皆さんに理解していただける内容にしていくよう努めていきます。

平成22年度においては、国の施策により増額が見込まれています。

(単位：百万円)



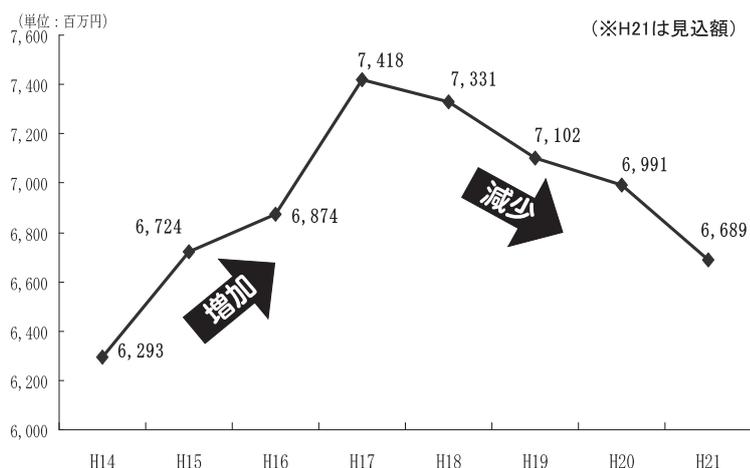
6 基金（貯金）の推移



●ワンポイント●

基金は家計でいえば貯金にあたるものです。いざというときに備え、貯えておくことが必要なものです。合併後は着実に増加していますが、今後も適切な財源を計画的に配分し経費の節減を図るとともに、新規事業執行については、あらゆる角度から調査し、町にとって有利な財源の確保に努めていきます。

7 地方債（借金）残高の推移



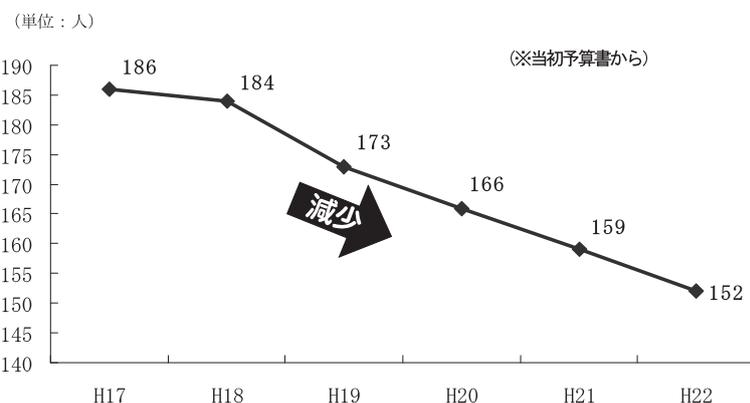
●ワンポイント●

地方債（借金）については、原則として、その借入額を返済額より少なくすることにより、借金残高の減少に努めていきます。

また、地方債には、それぞれの事業によって率は異なりますが、借金返済額に対し、決まった率で返済額の一部が地方交付税として交付されるものがあります。

今後とも交付税で措置される有利な地方債の活用を検討していきます。

8 職員数の推移（一般会計）



●ワンポイント●

事務事業の整理合理化・組織の見直し、指定管理者による管理等を推進し、職員の減員を進めながら、各事業の事務量に応じた配置を行い、適正な定員管理を進めていきます。

《役場電話番号》

●小鹿野庁舎1階

総務課	☎ 0494-75-1225
総合政策課	☎ 0494-75-4197
税務課	☎ 0494-75-4125
住民課	☎ 0494-75-4102
会計課	☎ 0494-75-4136

●小鹿野庁舎2階

議会事務局	☎ 0494-75-4199
-------	----------------

●両神庁舎1階

両神庁舎管理課	☎ 0494-79-1122
産業観光課	☎ 0494-79-1100
建設課	☎ 0494-79-1204
学校教育課	☎ 0494-79-1201

●保健福祉センター

保健福祉課	☎ 0494-75-4421
-------	----------------

●衛生センター

衛生課	☎ 0494-75-0352
-----	----------------

●小鹿野文化センター

社会教育課（1階）	☎ 0494-75-0063
中央公民館（1階）	☎ 0494-75-0063
町立図書館分室（2階）	☎ 0494-75-0063

●上水道浄水場

水道課	☎ 0494-75-0043
-----	----------------

●両神ふるさと総合会館

両神公民館（1階）	☎ 0494-79-1311
町立図書館（2階）	☎ 0494-79-0150

●町立病院

国保町立小鹿野中央病院	☎ 0494-75-2332
-------------	----------------

●防災無線

《防災行政無線放送内容》	☎ 0494-79-1761
--------------	----------------